

金沢市立米泉小学校

〔はじめに〕

本校は、伏見川と高橋川の合流地点に位置し、昭和58年4月に開校した。全校児童は358名、教職員は22名である。

学校の東側には、2本の川が流れ、四季を通じて子ども達が自然と親しめる環境にある。

平成24年度にユネスコスクールの認定を受け、身近な素材を取り上げながら「人々から学ぶ」「環境から学ぶ」「地域や金沢から学ぶ」の視点から実践を行うことにした。そして、体験的な活動を通して、自分達の住んでいる地域のよさを認識するとともに、地球規模の諸問題の解決に向け、身近な自然や社会に対して主体的に働きかけていく人間として成長することを期待している。

米泉からつながろう

「人々から学ぶ」「環境から学ぶ」「地域や金沢から学ぶ」

1 ユネスコスクールとしての取組

1年生 自然発見プロジェクト「きせつとあそぼう」



1年生は、春にあさがおの種まきをして、成長の様子を楽しみにしながら、世話をしたり観察をしたりした。つぼみを数え、開花したことやたくさん種の取れたことを喜び、あさがおの茎を使ったリースも作った。年長さんを迎える会には、あさがおの種を折り紙で作ったペンダントに入れてプレゼントをした。学習発表会では、「あきとなかよしになろう」というテーマで、秋の木の实や葉で作ったおもちゃや飾りを生かして、お店屋さん形式で発表した。他学年・保護者と交流し、「できた・わかった・もっとやってみたい」という充実感をもつことができた。

2年生 米泉の町紹介プロジェクト「どきどきわくわく 町たんけん」



家の近くのおすすめの場所を紹介し合った後、みんなで校区の町たんけんに出かけた。その際、西金沢駅の見学を行った。駅の施設やホームで列車の来る様子を見学した後、駅員さんにお話を伺い、質問に答えていただいた。その結果、駅には利用者の安全を守るための様々な工夫があることや、体の不自由な方や外国の方に対するきめ細かい配慮がされていることがわかった。

児童は、駅で働く人々の仕事や努力を知ることによって新しい発見をすると同時に、自分たちも利用者の一員として、ルールを守って駅を利用しようという意識を持つことができた。

3年生 伝統紹介プロジェクト「わくわく ドキドキ 金沢和菓子」



地域の和菓子工場に見学に行ったり、金沢の和菓子職人さんを招いて和菓子作りの体験をしたりした。金沢ではお茶や和菓子の文化が盛んなことや職人さんがお客さんのために技を磨いていることを学んだ。繊細で美しい和菓子は、原料にもこだわって、一つひとつ丁寧に作られていることを実感することができた。そして、この見学や体験で学んだことを他の学年の児童、保護者や地域の方々に楽しんでもらえるように、クイズ形式を取り入れるなど、グループごとに様々な方法で発信することができた。

また、地域のご年配の方々と交流会を行い、昔の生活の様子を聞いたり、昔から伝わる遊びを教わったりもした。

4年生 人のためにできること「目線を変えて、便利な工夫をみつけた！」



校区内にある「ゆうけあ相河」を訪問し、体が思うように動かないお年寄りの方々のために自分たちには何ができるのか考えた。2回の訪問を通してお年寄りの方々とふれあい、人のために何ができるかを考え、実行することができた。さらに、お年寄り以外にも体に不自由がある方々が便利に暮らすための工夫を調べた。見ることが不自由な方々、聞くことが不自由な方々、体を動かすことが不自由な方々など、それぞれのグループに別れ、他学年が分かるように言葉を選び、クイズなどを交えながら、楽しく発表することができた。

5年生 伏見川紹介プロジェクト「ちきゅうをまもるヒーローになろう」



伏見川の生き物やゴミの観察をもとに、生活と環境のつながりを考える学習を行った。伏見川にゴミが捨てられている様子から、川をきれいにしたいという願いをもち、そのために自分たちは何ができるかを考えるなど、日常生活と環境とのつながりについて考える姿が見られた。

さらに、地域の環境だけでなく、川と海・山のつながりから地球規模の環境問題に関心を持ち、地球温暖化、水質汚染、エネルギー問題、地盤沈下、砂漠化、絶滅危惧種、食糧問題や森林資源などについて調べ、学習発表会で地域の方や保護者に発表した。

6年生 金沢紹介プロジェクト「名所だよ！全員集合！」

金沢の名所や伝統・文化、偉人、歴史等を調べまとめた。調べる際は、児童一人一人の興味や疑問を大切にグループを作り、遠足でのフィールドワークや、文献調査を行った。児童は、意欲的に調査活動に取り組むとともに、未来の金沢のよりよい姿について考えることができた。

11月の学習発表会では、1～5年生や保護者、地域の方々に調べたことを発信した。一人一人が調べたことを発表用資料にまとめ、相手意識をもって分かりやすく伝えることができた。また、一人一枚のパンフレットを作り、金沢の魅力を発信することができた。

2 成果と課題

①金沢ユネスコスクールのテーマについて

各学年でテーマを明確にすることで、見通しをもって学習に取り組むことができた。また、米泉の校区や金沢の自然や文化・地域の方々と触れ合うことによって、充実した内容の体験活動となった。それによって、地域の環境や文化との「つながり」を意識し、「自分たちにできることは何か」を考え、まわりに働きかけようとする姿も見られた。今後もより多くの体験活動から学ぶことができるように、活動の際には保護者や地域ボランティアの方にサポートをお願いすることを検討していきたい。

②持続発展教育カリキュラムの作成上の工夫等について

昨年度に引き続き、取組の共通理解を図った。学習発表会では、それぞれの学年で日々の学習や実践を学校全体に発信した。学びや発見をどのように伝えるか、今後も全校で一貫した取り組みとなるよう呼びかけていきたい。また、学んだことを学習発表会だけでなく、学年の掲示板を有効活用して発信する取り組みも考えていきたい。

③他校への情報の発信、ネットワークづくりについて

学習発表会を通して、取り組んだことを他学年、保護者や地域の方々などへ発信し交流することができたが、他校への情報発信はできなかった。今後は発信できる方法を検討していきたい。

また、3年前から台湾のウェンヤ小学校との交流を行っている。年度は、4～6年生の教室にウェンヤ小学校の児童が入り、一緒に授業を行ったり給食を食べたりして、子どもたち同士の交流をすることができた。